

平成 27 年度 国公立薬理学関連教科担当教員会議 議事録

日時：平成 27 年 8 月 27 日（木） 13:30～16:20（含講演会）

場所：日本大学薬学部・8 号館 3 階 831 号室

出席： 国公立大学（17 大学中 14 大学参加）

私立大学（57 大学中 51 大学参加）

薬理学関連教科担当教員会議委員 76 名

欠席： 薬理学関連教科担当教員会議委員 72 名

議長： 伊藤 芳久委員長（日本大学）

配布資料：資料 1：出席者名簿

資料 2：会議次第

資料 3：平成 28 年度役員（案）および教員会議役員構成内規

資料 4：第 100 回薬剤師国家試験問題検討委員会（薬理）報告書

参考資料：国公立薬理学関連教科担当教員会議会則

別添資料 1：アンケートまとめ

別添資料 2：特別講演「日本大学薬学部における TBL（Team-based learning）導入の実際」抄録

上記資料を保存した CD

1 新委員の紹介

伊藤委員長から、審議に先立ち、会員の現状が説明された後、以下の本年度新委員の紹介が行われた。

高栗 郷（北海道薬科大学）

齋藤 弘子（青森大学薬学部）

益見 厚子（青森大学薬学部）

丹治（齊藤）麻希（岩手医科大学薬学部）

守屋 孝洋（東北大学大学院薬学研究科）

西屋 禎（奥羽大学薬学部）

村田 和子（いわき明星大学薬学部）

辻 稔（国際医療福祉大学薬学部）

脇 能広（日本薬科大学薬学部）

田嶋公人（城西国際大学薬学部）

野部 浩司（昭和大学薬学部）

沼澤 聡（昭和大学薬学部）

小野 景義（帝京大学薬学部）

清水 俊一（帝京平成大学薬学部）

葛巻 直子（星薬科大学）

恒枝 宏史 (富山大学薬学部)
金田 勝幸 (金沢大学大学院自然科学研究科)
大井 義明 (愛知学院大学薬学部)
津嶋 宏美 (金城学院大学薬学部)
福石 信之 (金城学院大学薬学部)
北村 佳久 (立命館大学薬学部)
綿野 智一 (大阪大谷大学薬学部)
田村 豊 (福山大学薬学部)
福山 亮 (広島国際大学薬学部)
杉本 由美 (安田女子大学薬学部)
土屋 浩一郎 (徳島大学)
小西 史朗 (徳島文理大学香川薬学部)
中島 光業 (松山大学薬学部)
津田 誠 (九州大学大学院)
桂林 秀太郎 (福岡大学薬学部)
塚原 完 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

2 次年度役員を選出について

伊藤委員長より、資料3に基づき、平成28年度の新役員案が提案され、審議の結果、原案どおり承認された。

平成28年度役員 (任期：平成28年1月1日～12月31日)

委員長	岩崎 克典	(福岡大学)
副委員長	池谷 裕二	(東京大学)
副委員長	武田 弘志	(国際医療福祉大学)
参与	福永 浩司	(東北大学)
参与	小山 豊	(大阪大谷大学)
参与	栗原 順一	(帝京大学)
事務局	三澤 日出巳	(慶應義塾大学)
事務局補佐	大矢 進	(京都薬科大学)

(事務局・栗原順一教授より国公立薬理学関連教科担当教員会議の会員名簿が出席者に回覧され、訂正ならびに退職(退会)された先生等の氏名があれば削除してほしいとの依頼があった。)

3 第100回薬剤師国家試験問題検討委員会薬理部会の討論を終えて

社団法人日本私立薬科大学協会薬剤師国家試験問題検討委員会薬理学部会委

員長野田幸裕教授より、平成 27 年 5 月 9 日に開催された第 100 回薬剤師国家試験問題検討委員会薬理部会での討議内容について、報告書（資料 4）に基づき、説明と解説がなされた。第 100 回薬剤師国家試験薬理学の出題については、出題基準に合致しており、一部を除いて概ね適切な問題であったとの報告があった。

4 アンケート報告

伊藤委員長より、本会議開催にあたり、各大学に事前に依頼し回答があった「薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に伴う薬理学関連教科に関するアンケート」の内容の集計結果について、昨年度のアンケート結果と比較しながら別添資料 1 に基づき説明があった。今年度の結果より、薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に伴う各大学のカリキュラム改訂で薬理・病態・薬物治療を統合型授業として実施する大学が増えたことから、この点を中心に意見交換が行われた。

5 日本薬学会薬理系薬学部会の活動について

薬理系薬学部会総務幹事・南雅文教授（福永浩司会長代理）より、部会の活動として、生体機能と創薬シンポジウムおよび若手による次世代シンポジウムを開催していることが報告され、併せて、両シンポジウムへ積極的に参加してほしいとの依頼があった。

6 次年度本会議の案内について

次期委員長・岩崎克典教授から、来年度の教員会議は「生体機能と創薬シンポジウム」と合同で、本年と同じ時期に東北大学川内キャンパス・マルチメディア教育研究棟にて開催予定である旨が報告された。

特別講演「日本大学薬学部における TBL（Team-based learning）導入の実際」

日本大学薬学部臨床医学研究室・小野真一教授を迎え、日本大学薬学部で昨年度より TBL を導入した授業（科目名：テーラーメイド薬物治療を目指して）について、①実際の TBL の進め方、②授業終了時の学生のアンケート結果、③評価および成績などについて講演していただいた。

なお、本会議終了後、日本大学薬学部・2 号館 2 階「多目的ホール」にて「生体機能と創薬シンポジウム」との合同懇親会が開催された。会員相互の交流、意見・情報の交換が活発に行われた。

以上

平成 27 年 9 月 24 日
委員長 伊藤 芳久

平成27年度国公立薬理関連教科担当教員会議次第

会 議 次 第

I. 本会議（13時30分～15時00分、8号館831教室）

1. 委員長挨拶
2. 新委員紹介
3. 次年度役員選出について
4. 第100回薬剤師国家試験問題検討委員会薬理部会議を終えて
(名城大学薬学部 野田 幸裕)
5. アンケート報告
(日本大学薬学部 伊藤 芳久)
6. 日本薬学会薬理系薬学部会の活動について
(北海道大学薬学部 南 雅文)
7. 次年度本会議の案内
(福岡大学薬学部 岩崎 克典)

休 憩（15時00分～15時20分）

II 特別講演（15時20分～16時20分、831教室）

「日本大学薬学部における TBL (Team-based learning) 導入の実際」
(日本大学薬学部 臨床医学研究室 教授 小野 真一)

III 懇親会（18時30分～20時30分）

会場：2号館2階多目的ホール

(生体機能と創薬シンポジウム2015と合同)

平成27年度国公立薬理学関連教科担当教員会議 出席者

委員氏名	所 属
南 雅文	北海道大学大学
平藤 雅彦	北海道医療大学
佐藤 久美	北海道薬科
益見 厚子	青森大学
丹治（斉藤）麻希	岩手医科大学
丹野 孝一	東北薬科大学
西屋 禎	奥羽大学
村田 和子	いわき明星大学
武田 弘志	国際医療福祉大学
松岡 功	高崎健康福祉大学
岡崎 真理	城西大学
脇 能広	日本薬科大学
田辺 光男	北里大学
石井 邦雄	北里大学
三澤 日出巳	慶応義塾大学
堀江 俊治	城西国際大学
渡邊 泰男	昭和薬科大学
村山 俊彦	千葉大学
大熊 康修	千葉科学大学
栗原 順一	帝京大学
小野 景義	帝京大学
清水 俊一	帝京平成大学薬学部
田野中 浩一	東京薬科大学
立川 英一	東京薬科大学
岡 淳一郎	東京理科大学
磯濱 洋一郎	東京理科大学
田中 光	東邦大学
伊藤 芳久	日本大学
石毛 久美子	日本大学
成田 年	星薬科大学
葛巻 直子	星薬科大学
阿部 和穂	武蔵野大学
出雲 信夫	横浜薬科大学
田邊 由幸	横浜薬科大学
石川 智久	静岡県立大学
前田 武彦	新潟薬科大学
金田 勝幸	金沢大学

大本 まさのり	北陸大学
高橋 達雄	北陸大学
今泉 祐治	名古屋市立大学
野田 幸裕	名城大学
大井 義明	愛知学院大学
津嶋 宏美	金城学院大学
原 英彰	岐阜薬科大学
北村 佳久	立命館大学薬学部
赤池 昭紀	京都大学
金子 周司	京都大学
大矢 進 (代理・藤井正徳)	京都薬科大学
藤井 健志	同志社女子大学
土田 勝晴	同志社女子大学
樋口 善博	鈴鹿医療科学大学
橋本 均	大阪大学
小山 豊	大阪大谷大学
大野 行弘	大阪薬科大学
川畑 篤史	近畿大学
荻田 喜代一	摂南大学
李 英培	神戸学院大学
篠塚 和正	武庫川女子大学
安屋敷 和秀	兵庫医療大学
松山 正剛 (代理・角山圭一)	姫路獨協大学
上原 孝	岡山大学
見尾 光庸	就実大学
森岡 徳光	広島大学
赤木 宏行	広島国際大学
杉本 由美	安田女子大学
水口 博之	徳島大学
小西 史朗	徳島文理大学香川薬学部
赤木 正明	徳島文理大学
古川 美子	松山大学
黒瀬 等	九州大学
岩崎 克典	福岡大学
桂林 秀太郎	福岡大学
植田 弘師 (代理・塚原完)	長崎大学
山本 経之 (代理・山口拓)	長崎国際大学
香月 博志	熊本大学
山本 隆一	九州保健福祉大学